

第2節 新生産部門の形成と急激な経済発展

第2節の課題

巨大独占企業による新生産物の開拓・新生産部門の形成

⇒停滞基調に反作用⇒急激な拡大再生産を惹起していく可能性

第3節：

資本主義経済＝一国経済の枠を超えて国外にも拡張していこうとする傾向

⇒独占段階の停滞基調の中で国家の政策と結合

⇒いっそう激しい対外膨張として追求される

⇒成功した場合に急速な拡大再生産を惹起

⇒他方で_____や国家間の鋭い対立を生み出す

歴史的現実

独占段階で間欠的にみられる急速な発展の時期＝新生産部門の形成や対外膨張が重要な役割

1920年代のアメリカ経済の好況

_____, 電力, 電話・ラジオなどの電気機器, レーヨンなどの新繊維など

1955～57年のアメリカ経済の好況

_____関係の新生産物, 石油化学(繊維, ゴム, プラスティック)の新素材

1955～70年の日本の高度成長期

自動車, 電気機器, 石油化学など

第1次大戦や第2次大戦, 朝鮮戦争や_____戦争などによるアメリカや日本経済の好況

1960年代以降の日本の対米_____の急増とそれにとまなう日米間の経済摩擦など

(1) 新生産物の開拓

個別企業が新生産物の開拓・生産を追求する誘因

＝開拓した企業が_____的地位を獲得

⇒独占的超過利潤の取得

＝他の既存部門に投資するよりも高い利潤率が期待できる

競争段階：_____の容易性→独占的超過利潤は一時的・過渡的

独占段階：新生産物開拓の誘因は競争段階に比べてはるかに_____

① 新生産物の開発能力

巨額の資本と大規模な研究開発組織の保有

⇒科学技術を応用した新生産物の開発能力が飛躍的に高まっている

② 参入障壁

技術_____を中心に高い参入障壁の形成

⇒単一企業独占⇒長期間にわたって超過利潤を安定的に獲得

③ 需要の不確実性の低下

新生産物＝本来的に需要が不確実

⇔独占企業の需要_____能力・販売努力

⇒需要の不確実性を大幅に除去

④ 非独占企業による新生産物の開発・生産

{ 需要が急速に拡大した場合
独占企業による大規模で組織的な広告・宣伝活動

⇒近い将来大幅な需要拡大が見込める場合

{ 開発者である非独占企業の_____・_____
直接生産にのりだして新部門を掌握・支配

新生産物のリスク：開発のための費用の大きさと費用が回収できるだけ

市場が拡大するかどうか

このリスクが大きい場合⇒開発と_____の生産は中小企業に任せる

成功の見込みが確実になった時点で、その企業の買収または直接参入

⑤ 独占企業が開発する新生産物

停滞基調の下で独占企業がその研究開発能力を発揮して開拓していく新生産物

(a)大規模な_____が見込める

(b) _____的に巨額の独占利潤を獲得できる

=画期的な新生産物

⇒一般に独自の新しい労働手段体系によって大規模生産が行なわれるようなもの

⇒新生産_____の形成によって生産・供給

(2) 新生産部門の形成をめぐる設備投資

① 新生産部門形成の設備投資の一般的特徴

新市場の開発・拡大が行なわれる一定の期間

=新生産部門形成のための設備投資の _____

⇒新市場の開発・拡大が _____

⇒これらの設備投資も _____

(a) 一定期間は一連の設備投資が持続的に展開

⇒関連部門に群的な需要

⇒その部門における _____の拡大を誘発

(b) 一定期間終了後に新投資の頭打ち・減退

⇒生産能力の拡大した関連部門への需要 _____

② 設備拡張投資競争の出現

独占企業が開拓・形成する新生産物・新生産部門

⇒大量かつ安定的な _____を確実に創出できる部門

⇒巨大規模の設備投資が展開

⇒関連部門に群的な需要を _____的に創出

(a) 市場開拓期

最初に生産を行なう巨大独占企業

=当初から有利な _____体制をもって生産に着手

⇒新鋭労働手段体系の _____設置

ただし、新生産物に対する広範な需要を開拓し

生産の飛躍的拡大と設備拡張を進めていくには一定の_____が必要

(b) 他の独占企業の参入

他の巨大独占企業：高利潤率の新生産部門への_____のため

類似的・代替的な新生産物の開発・生産の追求

{ 従来から新生産物の開拓努力
開拓企業の需要開拓努力⇒新生産部門の市場の大幅拡大

⇒参入_____の低下＝他企業の参入を容易化

他企業の参入の実現

⇒複数の独占企業による_____が展開

⇒新市場の開拓・拡大が急速に進展

⇒新生産部門の本格的形成期

(c) 本格的形成期：設備拡張投資競争の現実化

{ 新生産部門における複数独占企業による生産
競争的な販売促進活動

⇒_____が着実に大幅に拡大

{ 生産方法の改良と品質改良の競争
需要拡大分の吸収のための積極的な設備拡張投資競争が_____

(d) 関連生産部門への需要の波及

設備投資競争⇒群的な_____需要の持続的創出

{ _____部門に対する需要の急速かつ大幅な拡大
原材料・エネルギー・労働力需要拡大
販売促進活動に必要な資材・労働力需要拡大

③ 関連部門の設備投資の誘発

(a) 設備投資誘発の条件

新生産部門から関連部門への需要の波及⇒ I F 部門等の関連部門における生産拡大

I F 部門＝独占部門： _____ ・ 慎重な投資行動⇒設備拡張投資の誘発作用の _____

独占部門の設備拡張投資を誘発するためには？

⇒ _____ をかなりの程度上回る規模と持続性をもつ需要が創出される必要

これだけの需要を創出する新生産物とは？

1. 巨大な市場を開発する画期的なものである場合

⇒新生産物を生産する新生産部門において非常に大規模な _____ が持続的に展開

2. 複数の新生産部門が相次いで開発される場合

⇒生産手段に対する需要拡大が _____ 的に生じる

i) 技術的関連性をもった複数の新生産物の開発

ii) 新生産物を原料とする新生産物の開発を促進

iii) 新生産物の原材料や労働手段において新生産物の開発を促進

ex.自動車，電力，石油化学，エレクトロニクスなど

(b) 関連部門における設備拡張投資競争と需要の相互波及

新生産部門の形成にともなう設備投資・生産拡大

⇒関連部門に対する需要を大幅に拡大

⇒それらの部門で _____ の独占企業による設備拡張投資

⇒さらに関連部門へ大幅な需要拡大が波及

(c) 市場・生産拡大の加速度的誘発メカニズム

耐久的な労働手段への _____ 資本投下

⇒関連部門への需要の _____ 的波及

⇒潜在化していた市場・生産拡大の加速度的 _____ メカニズムが急速に顕在化

(d) 独占企業特有の設備投資行動・投資競争

1. 余裕能力の存在

需要停滞期には _____ の重要な要因⇔余裕能力を見込んだ設備投資規模の決定

2. シェア確保のための設備投資の強行

市場拡大終了後の_____確保を目的とする生産能力_____を覚悟した設備投資競争

⇒需要の加速度的・相互誘発的誘発メカニズムをいっそう強化

*独占間協調の中に潜在化されていた激しい_____と対立が全面的に顕在化

⇒社会全体の急速な拡大再生産＝Ⅰ部門の不均等的拡大過程の進展

④ Ⅱ部門の市場拡大と設備投資増大

(a) 雇用増大による消費総額の増大

Ⅰ部門の不均等的拡大

⇒生産規模拡大による_____増大

⇒労働者の賃金総額増大と消費総額増大

⇒Ⅱ部門の生産拡大・設備拡張投資の拡大

⇒Ⅰ部門の不均等的拡大を促進

(b) 所得の増大による潜在的消費欲の現実化

時間外労働・賃金率上昇・家族の_____上昇⇒家計の_____所得の増大

⇒潜在化していた消費欲求が顕在化

⇒急速な消費支出増大を促進

(3) 新生産部門形成による発展過程における矛盾の展開

巨大規模の新生産部門の形成の実現⇒停滞基調は一転して急速な拡大再生産の進展

⇒ { 資本と労働力の慢性的_____の緩和・解消
労働者の賃金_____も一定程度可能
非独占企業や小生産者も経営条件が_____

しかし、このような過程は 新しい矛盾が展開し深まっていく過程でもある

① 新生産物開拓の基準

(a) 独占利潤の獲得

独占企業の新生産物の開発・製品化の選択基準

=自らの _____ 獲得にとって有利であるかどうか

- { 自己の生産する既存の商品と _____ しない
- { 販売促進活動によって大量の _____ が開拓できる
- { 長期にわたって独占利潤を獲得できる

(b) 社会的有用性

社会的有用性のある商品 ⇔ 大量の需要 = 独占利潤

	独占利潤の獲得	社会的有用性	開発・商品化
新生産物 A	有利	有用	
新生産物 B	不利	有用	
新生産物 C	有利	無用 or 有害	

② 急激な拡大再生産と過剰生産恐慌

新生産部門形成を起動力とした巨額の設備拡張投資の群生

⇒ 関連部門への需要の加速度的波及 = 生産 = 市場の _____ 的拡大メカニズムを現実化

⇒ 競争段階以上に急激な拡大再生産が現実化

好況過程 = _____ 部門の不均等的拡大は、巨額の _____ 投資が増大し続けるかぎりにおいて継続
しかし

(a) 新生産部門形成投資

新生産部門の形成にともなう設備投資

⇒ 新生産物の普及・新市場の本格的形成完了後に _____

⇒ その後の長期にわたって拡張投資も _____ 投資も一切なく

一方的 _____ のみが行なわれる状態が継続

(b) 設備拡張投資競争

既存の関連部門でも需要の大幅拡大期の _____

⇒ シェア確保のための設備拡張投資競争が _____

= 大規模な余裕能力と過剰生産能力を保有し一方的供給のみが行なわれる状態

(c) 全般的過剰生産恐慌の爆発

{ 新生産部門形成投資の終了
 関連部門における設備投資競争の終了

⇒市場条件は大幅な 需要___供給 ⇒ 需要___供給⇒全般的過剰生産恐慌の爆発

(d) 深刻な停滞の出現

1. 巨大独占企業の協調

稼働率の大幅_____⇒価格維持=過剰生産能力の_____

2. 巨大銀行独占と産業独占の癒着

恐慌の機能：恐慌⇒過剰生産物・過剰生産能力の_____的破壊

⇒価値_____機能の回復 ⇒新たな発展過程のための条件を準備

独占企業間協調と金融独占との癒着

⇒_____による支払い不能の連鎖的波及の阻止

⇒恐慌の機能の_____

⇒大規模な生産能力の_____と労働力の_____が長期的に支配する傾向

長期的な停滞から急激な発展過程が再現されるためには？

* 画期的な新生産物 or _____の必要性